



御園だより

令和6年度 9月号
大田区立御園中学校
校長 古川 大輔



多様な学び～人・社会とつながり、学校・社会の一員として貢献しようとする生徒～

学校の特色である多様な学びをとおして、生徒の可能性を引き出すとともに、自らの生き方を主体的・肯定的に捉え、地域とつながり、自立するための資質・能力を育成してまいります。

始業式

始業式で生徒たちに次のような話をしました。

長く暑さが厳しかった夏休み。それぞれに自立のための体験やさまざまな経験の機会があったことと思います。ひとまわり成長した生徒の皆さんと再会し、2学期を迎えられたことをとても嬉しく思います。「これを知る者はこれを好む者に如（し）かず。これを好む者はこれを楽しむ者に如（し）かず。」という孔子の言葉があります。何事も楽しむ人が最も成長していくという意味です。楽しむ人を主体的に行動する人と解釈してみましょう。心身ともに成長する生徒の皆さんのことのようにです。授業や学校行事等をとおして、主体的に行動し、自らの可能性を伸ばしていくということでしょうか。いよいよ2学期が始まりました。3年生は中学校生活最後の御園祭、そして進路選択。2年生は職場体験、1年生は移動教室。校内外での体験活動や外部講師による特別授業など。授業や学校行事等をとおして、人・社会とつながり、学校・社会の一員として貢献しようとする資質・能力を高める学びがあります。生徒の皆さんが主役です。自ら学び、考え、主体的に行動し、自らの可能性を伸ばしていきましょう。更なる成長に期待します。知識・技能の習得や思考力・判断力・表現力等の育成など、学習の成果には、思うように伸びない時期と一気に伸びる時期があります。これらを「学習の成長曲線」といい、一時的に学習効果が見えにくくなる（伸びるための準備期間）「学習高原」という時期が現れることを「プラトー現象」といいます。理想の成長は直線ですが、実際の成長は曲線を描き、ある時点から急に成果が出始めます。見通しをもち、粘り強く学習を続け、自らの学習を調整する力を身に付けていきましょう。最後に、先生は必ず皆さんの力になります。悩んでいることや心配なことがあったら、いつでも、どんなに小さなことでも、先生やスクールカウンセラーなど誰にでもよいので身近にいる信頼できる大人に相談してください。

保護者の皆様、お子様の変化や気になる様子がございましたら遠慮なく学校にご相談ください。

自然災害への初期対応

9月2日（月）地域班に分かれ、集団下校による避難訓練を実施しました。学校では8月を除く毎月の避難訓練や安全指導をとおして災害への備えと防災に対する意識を高めています。

今後とも大規模地震、台風等の自然災害発生時には、8月28日（水）登校日に配布しました「台風接近時等の対応について」のお知らせのとおりに対応してまいります。「自然災害への初期対応に関する大田区立学校のガイドライン（大田区教育委員会）」に基づく、生徒・教職員の安全確保の対応にご理解とご協力をお願いいたします。

本校ホームページ「Misono Diary」に活動の様子を掲載しております。右上のQRコードよりご覧いただけます。また、X公式アカウント「御園中 日々の出来事」を随時更新しております。